

TOEIC・TOEFL 対策

国際文化学科 4年生
(ハワイ大学長期留学経験者)

昨今、TOEIC のスコアが就職活動で重視されるようになり、様々な大学で TOEIC 対策講座が開講されるようになった。ここでは、TOEIC・TOEFL のテストについて簡単に説明し、それぞれの試験について私自身が行った対策をまとめる。

I TOEIC, TOEFL について。

1. TOEIC (Test of English for International Communication)

TOEIC は英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテスト。TOEIC テストは、合否ではなく、10 点から 990 点 (Listening 495 点・Reading 495 点) までのスコアで評価される。TOEIC テストは和文英訳、英文和訳などの技術ではなく、身近な内容からビジネスまで幅広くどれだけ英語でコミュニケーションできるかということ測る。それゆえ、ビジネス英語の専門的な知識が必要となる。

2. TOEFL (Test of English as a Foreign Language)

TOEFL テストは非英語圏の出身者のみを対象としており、英語圏の高等教育機関への入学希望者のための外国語としての英語力判定のために用いられる。大学のキャンパスや教室といった実生活でのコミュニケーションに必要な、「読む」・「聞く」・「話す」・「書く」の 4 技能を総合的に測定する。

II TOEIC・TOEFL 試験対策

私が TOEIC・TOEFL を受験するにあたって特に力を入れたのは以下の 2 点である。

a) ボキャブラリーの強化

TOEIC ではビジネス英語で使用される英単語、TOEFL ではアカデミックな英単語と、どちらのテストにおいても専門的な英単語の知識が必要とされ、語彙数がスコアに直結してくる。知っている単語が多ければ多いほど、リーディングのスピードも上がる。大学受験までで獲得した基礎的な語彙に上乘せをするために、それぞれのテストに対応した単語帳を使用し、語彙数を増やしたうえで試験に臨むことが、リーディングパートでのスコアアップへの最短の道であると感じる。

b) リスニング力の強化

リスニング力を短期間のうちに向上させることは難しい。そのため、大切なことは、日々英語に触れることだと思う。一日 10 分でもいい。それを継続していくことが大切だと感じる。私が実践していたのはシャドーウィング (説明は以下を参照) という方法である。シャドーウィングをすることで普段から英語に接することができ、リスニング力が上がっただけでなく、英語のリズムやイントネーションをつかむことができ、発

音もよくなった。一石二鳥の学習法で楽しく簡単にできるため、ぜひ実践してみてください。

シャドーイング

シャドーイングというのは、ネイティブの人が読んだ英語を聞きながら、それと同じ文章をそっくりそのまま音読すること。ふつうの音読と違う点としては、英語が全て読まれてからその英語をオウム返しするのではなく、相手が読んだ0.5秒くらいあとを追うようにして読むことがあげられる。

I would like to improve my English. (モデル音声)

I would like to improve my English. (あなたの声、モデル音声を追いかけるように)